

わたしたちのまちに 続いてきた伝統の祭りを これからも、ずっと守っていききたい。

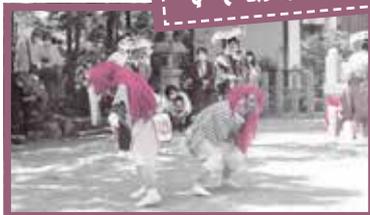


長刀まつり(小津神社) 中止

未来の担い手になってほしいと、玉津こども園で長刀振りの実演や長刀・籠子の体験などを行いました。



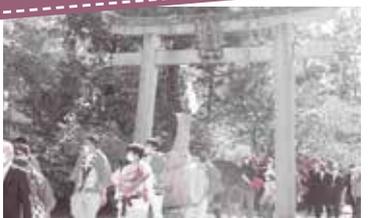
すし切りまつり(下新川神社) 縮小



無観客で、すし切り神事とかんこの舞を奉納しました。
 上路 駿さんと木村 有希さんは練習を重ねて、所作の難しいすし切りの大役を果たしました。



小浜町氏神祭礼式(天満宮) 縮小



神輿に代わり、宮司を先頭に鳳凰と太鼓の本宮渡しの神事を行いました。

勝部神社例大祭 縮小



神輿の数を減らし、担ぎ手の人数を制限して神輿渡御を行いました。

豊年踊り 中止



過去に行われた豊年踊り

馬路石邊神社 大林宮司のメッセージ

コロナ禍で神輿渡御ができず、豊年踊りもやむなく3年連続で中止となりました。豊年踊りは過去にも一度途絶えた経験がありますので、コロナ禍を抜けて来年こそは祭礼のすべてを催行して、未来へ伝統神事を継承したいと願っています。



今年のゴールデンウィークに縮小しながらも行われた祭礼、中止になっても伝統を伝える地域の工夫を紹介します。

◆コロナ禍で祭礼の伝承に危機感

新型コロナウイルス感染症の影響で、地域に受け継がれてきた伝統のまつりは、今年も中止や縮小が相次ぎました。

コロナ禍も3年目となり、歴史や民俗文化が色濃く残る祭礼の詳細な礼式が分からなくなったり、担い手の意識が薄れてしまい、伝統の継承が難しくなるのでは、と関係者は危機感をもっています。

国の無形民俗文化財に指定されている「近江のケンケト祭り長刀振り(下新川神社、小津神社)」、市指定無形民俗文化財の「豊年踊り(馬路石邊神社)」など、各地域では伝統と信仰を象徴する大切な神事を守り伝えていこうと、さまざまな工夫をしています。

コロナ禍だけでなく、生活様式の変化や若者の人口流出など、伝統神事を後世に伝える課題と、それに負けない強い決意を感じる黄金週間となりました。

◆新型コロナに負けない

- ・幸津川町では、祭礼の伝統や魅力を伝える「伝統文化こども教室」を開いています。
- ・地域や祭礼の関係者の元氣と祭礼の魅力を広く発信するため、近江のケンケト祭り長刀振り連合保存会が、県内の近江のケンケト祭り長刀振りの祭礼紹介動画を作成し、市YouTubeでも配信しています。



YouTube